



## 石山諏訪神社

石山新田開発時に開拓の神である「建御名方命」<sup>たけみなかたのみこと</sup>を産土神<sup>うぶすな</sup>として文禄年間(1592~96年)に創建されました。開発の安全と春の豊作祈願、秋の収穫祈願のお祭りが行われています。

天明4年(1784)に再建され、慶応2年(1866)11月に焼失、翌年4月に再建されました。その後北越鉄道(現JR信越本線)敷設<sup>ふせつ</sup>の際、明治29年(1896)に現在地に遷座<sup>せんざ</sup>しました。

門前には、台座に「安政3年(1856)丙辰4月建之」と刻まれた、新潟市で古い座型の狛犬<sup>こまいぬ</sup>が鎮座しています。

